

R7 ル・ソラリオン西新井 事業計画書

1. 施設理念

- ・「主役はいつも利用者の皆様です」の考えを基本に利用者の人格及び意思を尊重し、今までの生活が継続できるよう支援をおこなう。
- ・地域、家庭との結びつきを大切にし、信頼される施設作りを目指す。

2. 施設方針・テーマ

- ・利用者に適切なケアを提供し、その人らしい生活が継続できるよう支援を行います。
- ・職員一人一人が、主役である利用者のニーズを理解し、気づきを大切にすることで、ケアの向上に取り組みます。
- ・地域に貢献し、身近な存在として愛され、信頼される施設づくりを目指します。

3. 実施事業

(1) 介護老人福祉施設	定員 160名 (個室ユニット型)
(2) 短期入所生活介護	定員 20名 (個室ユニット型)
(3) 認知症対応型通所介護	定員 12名/日
(4) 居宅介護支援事業	定員 35名

4. 重点目標

抱負・目標

①個別ケア、チームケアの充実

利用者個々のケアについて、職種間連携の元、最適なケアを提供します。

安心・安全で専門性の高い良質なサービスを提供します。

②人を思いやるやさしい接遇・対応をし、地域からの信頼を得る

③意見が言い合える風通しの良い職場環境、働きやすい施設づくりでサービスの質を向上します。キャリアアップを目指せる施設づくりに取り組みます。

④リスクマネジメントへの対応

感染症、災害等あらゆるリスクの回避またはリスク発生時にサービスの継続をし、利用者・職員の安全確保、その後の事業継続の対応を行います

(1) 人材育成と職場定着

①広い視野を持った職員の育成、リーダーシップのある次代を担う職員の育成を行う。

②経験と職域による研修への参加を促進し、個々の職員のスキルアップを図る

③ユニットケア（個別ケア）の充実・強化を図ることで充足感を感じ、職員の成長へとつなげる

(2) 利用者へのサービス提供（顧客満足・質の向上）

①個別ケアの充実

・ユニットケアを充実させることで、利用者個々に合わせた生活を提供する

・リハビリ・栄養管理・口腔管理の一体的取り組みにより、一連のサイクルを強化し『食事をおいしく口から食べられる』を目指す

・介護職員等による喀痰吸引が実施できること、協力医療機関との連携強化で、医療が必要な利用者の受け入れを増やす（医療に強い施設づくりへ）

・認知症の方の行動の背景を見つめ、安心した生活を提供する

- ②利用者の趣味・嗜好を反映したレクリエーションやクラブ活動を提供する。
- ③利用者サービスの向上
 - ・ IS09001、外部評価 自己評価によりサービスの点検を図り、質の向上を図る。
 - ・ 不適切ケアの未然防止、虐待防止の取り組み、人権に配慮した接遇の研修を全職員に対して行う。

（３）リスク対策（感染・安全・災害）の充実

- ①協力医療機関との連携により、利用者の健康管理に努め、施設での生活が継続できる
- ②感染症の職員・利用者の罹患を防ぎ、感染防止に努める。施設内発生時の蔓延防止、事業継続をするためBCPによる職員研修、訓練を行う。
- ③利用者の重大事故を減らすことにより、利用者の身体機能の維持、快適な生活を送ることができる
- ④水害、地震など地域防災計画に基づきBCPによる研修と訓練を行う。
職員の地域防災の意識を高め、施設機能を活用した災害支援に取り組む。

（４）施設・設備整備

- ①安心・安全で快適な施設内外の環境整備を行う
建物、設備、備品の保守管理を行い、経年に伴う整備と修繕に迅速に対応出来るよう取り組む。法令遵守し設備の保全に努める。
- ②ICTの利活用の推進
 - ・ 職員の負担の軽減、利用者支援の拡大・満足度の向上を目指す
 - ・ デジタルネットワークを活用し施設・家族・地域をつなぐ

（５）地域連携・社会貢献

- ①施設機能の活用（人的、物的）により、地域への社会貢献を行う（認知症カフェの検討）。
- ②多世代間の交流として、保育所、学校、地域自治会、民生委員、地域包括支援センターと連携した取組を行う。
- ③看護実習、介護実習等、専門職養成のための施設機能の活用を図る。

（６）経営管理

- ①経営の安定（稼働目標の達成）

介護老人福祉施設	147名（91.3%）	ショートステイ	14名（70.0%）
認知症対応型デイサービス	7.2名（60.0%）	（居宅介護支援事業 20名※休止中）	
- ②稼働率向上委員会の活動と、定期的な営業アピールにより稼働率の向上を目指す。
- ③各種加算取得、認知症チームケア推進加算、口腔衛生管理加算、経口維持加算など）に取り組むことでサービスの質を上げる
- ④労働環境の無理無駄を減らし、利用者還元する（生産性向上推進体制加算）